

(1) 事業の目的

国内外のサイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”の実現に向け、「静岡県自転車活用推進計画」に基づき、安全で快適なサイクリングの走行環境の整備・充実を図り、県下のサイクリング愛好家のすそ野の拡大と、サイクリングを通じた観光交流人口の拡大を目指す。

(2) 指標

指標①：静岡県自転車活用推進計画に位置付けのある路線の自転車走行環境整備率を約45%向上  
 指標②：県内の観光入込客数を約10%増加

指標の達成状況

自転車走行環境整備済延長の最終実績値は100%であり、目標（75%）を大きく上回った。一方で、県内への観光客は、コロナウイルス感染症の影響で激減した。

計画の成果目標		定量的指標		
		H26末	R2末目標値	実績値
①	自転車走行空間整備率 (整備済道路延長を約45%向上)	30% (161.4km / 538.0km)	75% (403.5km / 538.0km)	100% (538.0km / 538.0km)
②	県内の観光入込客数の増減率	100.0% (147,935千人)	110.0% (162,728千人)	65.0% (96,060千人)

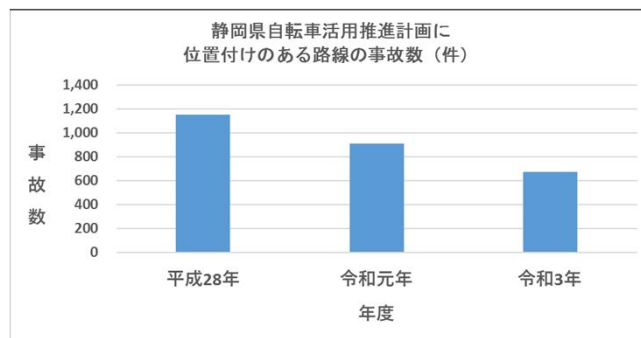
(3) 指標に関連する実施事例

95-A1-005 (国) 42号自転車走行空間整備



(4) 定量指標以外の効果発現状況

矢羽根型路面表示の設置により、自転車の車道左側走行を促し、ドライバーへの注意喚起を行うことで、安全性が向上し、事故の削減に繋がっている。



(5) 今後の方針

本整備計画「サイクリングの聖地“ふじのくに”の自転車走行空間の整備」として事業完了することができた。今後は、「サイクリングの聖地“ふじのくに”の自転車走行空間の整備（第2期）」にて、富士山一周サイクリングルート of 整備として、(国) 469号ほかの自転車走行空間整備を推進していく。